

11501造船業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	10 ～ 11	新造船の甲板上で、オイルカーゴタンクの洗浄作業準備中、右肩にエアホース(25m、約1kg)、左手にデッキブラシと半キレ缶(中身なし)を持ち運搬していて、デッキ面が濡れていたため、滑って尻もちをつき、第1腰椎圧迫骨折を負った。	29	2	418	1～9
2	2020	1	9 ～ 10	船の船底サンドブラスト中、船台にぶつかり、保護具が外れてサンドブラストの砂が跳ね返り、右目に当たって、眼球内異物外傷性虹彩欠損を発症した。	61	4	521	1～9
3	2020	1	13 ～ 14	定盤上に鋼管パイプを置き、ガス流し切断作業を行っていた際、ガスノロが飛び散って手袋と作業服の間に入り、左前腕に火傷を負った。	67	11	331	10～ 29
4	2020	1	9 ～ 10	小型船舶の下架作業中、船舶が後進する際に工員5人で押していたところ、BOXバージ上に設置されていた網取り用のローラーと船体に、右手首が挟まれ、骨折・圧挫傷・皮膚欠損傷を負った。	63	7	239	10～ 29
5	2020	1	10 ～ 11	修繕船の機関室内で、検査のため船内の敷板(幅約70cm)上を移動していた際、足を踏み外して開口部から1m下に転落し、右足踵打撲、胸椎骨折を負った。	43	1	414	30～ 49
6	2020	1	11 ～ 12	支柱受用機械をし移動していたとき、機械が滑り落ち、右足甲に打撲を負った。	34	4	379	500 ～ 999
			11	客船の海上運転のため、ドックよりの出渠作業を開始した。被災者は客船の船尾甲板にいて、ドックマスターの指示により客船の				

7	2020	2	～ 12	ビットに掛けられていた曳航索を外し、ムアリングホールから抜けるまで曳航索を手で送っていた。その際、曳航索のツボに右足が入り、そのまま曳航で引かれていた曳航索とムアリングホールとの間に右足が挟まれ、右足腿を切断した。	55	7	379	30～ 49
8	2020	2	14 ～ 15	構内塗装工場で、橋脚ブロックのブラスト作業中、高所作業車バケット内よりベル線を落としブームを地面まで下ろして拾おうとした際、ブラストホースが手元から外れ暴れて頭に当たり、左肩を骨折、外傷性クモ膜下出血を負った。	23	1	146	1～9
9	2020	2	14 ～ 15	構内で、油圧シリンダーに接続された油圧ホースを取り外し中に、接続部から残圧のかかった油が吹き出し顔面に被り、バランスを崩し、脚立から転落し肘を強打して、右肘を骨折した。	54	1	371	30～ 49
10	2020	2	～ 15	造船所で歪取り作業中、サブ材を片手で持っていたところバランスを崩し、下の台とサブ材との間に左手薬指を挟んで圧挫創を負った。	32	7	522	1～9
11	2020	2	15 ～ 16	足場解体作業中、小分けにした足場板をタンクトップに降ろす作業をしていた際、高所作業車が上昇したため被災者が足場上を移動したところ、連結された部分が動いて体勢を崩し、タンクトップ上に転落して、胸腔内出血により死亡した。	30	1	411	1～9
12	2020	2	11 ～ 12	工場内を移動中、床の段差につまずいて転倒し、左手をついて手首を骨折した。	47	2	417	—
13	2020	2	8 ～ 9	切替作業中、ガスホースを元の場所へ移動する際、渡り先に設置してあった転落防止の鋼管手摺に気付かず顔面（鼻）を打ち、その衝撃で落下しすぐ下を通っていたパイプで右脇腹を強打し、2.1m下のタンクトップまで落下して、右第10、11肋骨、鼻骨を折った。	50	1	417	10～ 29
			8	工場ブラストブース内で、足場上に寝ころび作業を行い、ブラストノズルの方向を変えようと体勢を変えた際、上体が間口部に転				

14	2020	2	9	～	9	落し左足がパイプに引っ掛かり、体重が左膝に集中し、側副靭帯部分に断裂を負った。	30	19	411	1～9
15	2020	2	19	～	20	自社ドック内で、浮ドックへ上げた修理船の、プロペラ周りにつけられた亜鉛板を外す作業中、居眠りにより高所から下の浮ドック上に転落したため、全身打撲を負った。	35	1	146	30～ 49
16	2020	3	16	～	17	組み立て工場で、作業台に上がって作業をしていた際、バランスを崩し、作業台が横転したことにより転落しビーム台に腰を強打ち骨折した。	23	1	371	100 ～ 299
17	2020	3	15	～	16	構内で建造中のマストの昇降階段を下りようとしていた際、仮付溶接されていた「つかい棒」を掴んで、「つかい棒」と一緒に4m下のブリッジ脇に落下して左手首、腰椎横突起を骨折した。発生時、保護具、軍手、フルハーネスを着用していた。	19	1	413	50～ 99
18	2020	3	13	～	14	工場内で、ぎ装品の磨き作業中、裏面を磨くため、2人で反転を行うため、鉄板（約45kg）を両手で持ち上げて、一旦、台上げしてある盤木に置いた。その後、改めて、2人で鉄板を持ち上げてひっくり返そうとしたとき、盤木の端から鉄板がずり落ちた際、左足が鉄板の下側にあっただため、左足第1、第2中足骨を折った。	54	4	521	30～ 49
19	2020	3	13	～	14	工場中、台車の上に船の一部を積み込み後、持ち場に戻る際、足を踏み外し転落して、腰椎圧迫骨折を負った。	72	2	417	1～9
20	2020	3	10	～	11	船の火気養生作業で、防災シートの張り合わせ作業中、高さ2350mmにある単管に足を掛けていたところ、バランスを崩して転倒し、右腓骨と右足首を骨折した。	47	1	411	10～ 29
21	2020	3	13	～	14	リフティングマグネットを使用して、部材（230kg）を配材作業中、部材が落下して左足に当たり、骨折した。	38	4	521	1000 ～ 9999
			11			工場中ブロック溶接作業中、ブロック端に左足を置き、右足を脚				

22	2020	3	～ 12	立に乗せていたところ、バランスを崩して転落し、腰椎を骨折した。	42	1	371	1～9
23	2020	3	～ 16	15 工場で足場架設の際、単管を片手で掴み、ロンジに足を掛けて降りようとしたところ、単管が手前に振れてバランスを崩し、梁底まで転落して右大腿骨を折った。	54	1	411	1～9
24	2020	3	～ 9	8 溶接作業で、はしごを登っていたとき、左足を滑らせ高さ約1030mmから落ちた。その際、パイプ治具の外筒へ体をぶつけ右肋骨を折り、右腎臓を損傷した。	42	1	371	1～9
25	2020	3	～ 15	14 工場で、木板をピンに押付け仕上げ作業中、木材が下がり右手人差し指の軍手がピンに引っ掛かり巻き込まれ、右手人差し指第2関節脱臼、腱の断裂、裂傷を負った。	37	7	151	50～ 99
26	2020	3	～ 13	12 修理作業中、ロープが機械に引っ掛かった際に転んで、左上肢に打撲、挫傷を負った。	43	2	379	10～ 29
27	2020	3	～ 10	9 足場板の固縛を解いた拍子に、倒解した足場とロンジーに挟まれ、右手人差し指、中指を骨折した。	26	7	611	30～ 49
28	2020	4	～ 10	9 発電機用潤滑油貯蔵タンク内部で、上部にブラケットを取り付けるため、左手で部材を保持し取り付け溶接を行ったところ、溶接火花が作業服に引火し、腹部・左大腿部内側に熱傷を負った。	35	11	331	10～ 29
29	2020	4	～ 16	15 船舶修理のため溶接作業中、消耗品を取りにアッパーデッキに上がるため垂直はしごを登っていた際、ゴム手袋に油が付いていたため手元が滑り、約4～5mの高さから落下して右膝と右肘を骨折した。	33	1	371	1～9
30	2020	4	～ 10	9 ブロック定盤を移動中、腹這いで溶接作業を行っていた同僚の背中を踏み、バランスを崩して右足首を骨折した。	47	19	921	30～ 49

31	2020	4	11 ～ 12	工場内で、船舶用のブロック（17×15m、約20t）をクレーンで仮置きする作業中、玉掛けの補助でブロックを置くバン木を調整中、ブロックが動いてバン木とブロックの間に右手を挟み、示指に挫滅創、中指と環指を骨折した。	37	7	211	1～9
32	2020	4	10 ～ 11	工場内で溶接作業中、作業台を乗り越えようとしたところ、角に足が引っ掛かり、転倒して作業台下の椅子に顎を強打して、骨折した。	36	2	391	1～9
33	2020	4	15 ～ 16	船のデッキ上で、資材をハンドリフトで搬入中、デッキ上のポートなど固定する穴にタイヤが落ちて、鋼鉄製のメッシュ箱の角に右足親指が挟まり、安全地下たびの鉄製カバーが割れて、右足親指を骨折した。	28	7	222	1～9
34	2020	5	10 ～ 11	休憩の際に仕事で使用する道具を取りに現場から事務所へ戻り、道具を受け取った後に事務所内の階段を踏み外し、右足首をひねって捻挫した。	45	19	413	10～ 29
35	2020	5	14 ～ 15	潜水業務中、おぼれたことにより虚血性心不全を発症し、死亡した。	53	10	713	10～ 29
36	2020	5	15 ～ 16	寮の片付け後、会社へ戻る際、階段から転落して、左肩肩甲骨・左多発肋骨を折り、外傷性血胸を負った。	44	1	413	10～ 29
37	2020	5	11 ～ 12	工場内で作業中、鋼材の吊り具が外れ、左薬指と小指を詰めて裂傷・骨折を負った。	26	7	372	1～9
38	2020	5	14 ～ 15	造船作業中、部材を取りに行く際、ホースに足が引っ掛かって転倒し、右膝の靭帯を損傷した。	45	2	391	1～9
			11	天井クレーンを使用して、トラックの荷台へ条材の積み込み作業				300

39	2020	5	～ 12	を行っていた。被災者は荷台の端部に積んでいた6枚の上に乗っていたところ、移動してきた条材に接触して上2枚が荷崩れを起こし、飛び降りた際に右足を骨折した。	33	1	211	～ 499
40	2020	5	～ 17	16 材料の配材作業中、移動してトイレの出入口で降りようとしてバランスを崩し、両足関節を捻挫した。	39	19	921	1～9
41	2020	5	～ 17	16 エンジンを回しながら計測作業中、次の作業場所に向かう際、足場板につまずき回転しているギア部分に手をついたため、挟まれて右手小指を骨折した。	25	7	121	10～ 29
42	2020	5	～ 12	11 未舗装の駐車場で、自動車に段ボール箱を積み下ろし作業中、段ボール箱を両手で抱え歩行中、フェンス際の側溝に右足がハマり、体のバランスを崩し転倒し、車止め縁石ブロックに左足膝下脛骨を打ち骨折した。	51	2	418	1～9
43	2020	6	～ 14	13 Aデッキとも側で防熱材寸法作業中、計測のためしゃがんだ体勢のまま横歩きで移動した際、Bデッキへの昇降階段開口部に気付かず足を踏み外し、はしごに掴まったが体重を支え切れず、高さ3m下のBデッキへ転落し、背骨を折った。	31	1	418	100 ～ 299
44	2020	6	～ 14	13 造船建造中、船首楼居住区に入ろうとした際、入口足下にあった船用弁につまずいて転倒し、船用弁が左足に倒れて、第5指骨の根元にヒビが入った。	73	5	521	1～9
45	2020	6	～ 14	13 現場近くの公衆電話付近で、セメントのくぼみに足を取られ、右足をひねり、右前距腓靭帯を断裂した。	28	19	417	10～ 29
46	2020	6	～ 10	9 造船所で、ニット缶を持って船内の階段を上っていた際、バランスを崩して後ろ向きに転倒し、右足を骨折した。	52	2	413	10～ 29
			14	船のエンジンルームフロアで断熱材を足場上に移動させる際、開				10～

47	2020	6	15	口部（45×65cm）に足を踏み入れて190cm下に転落し、肋骨を折った。	42	1	414	29
48	2020	6	14 ～ 15	修繕船の機関室内で、補器台を取付箇所まで移動させていた際、燃料トレース管が干渉するため移動させようと左手を添えたところ、補器台に掛けていたクランプが外れ、トレース管と補器台の間に左手中指と薬指を挟んで骨折した。	31	7	361	500 ～ 999
49	2020	6	11 ～ 12	船舶ブロックの組み立てを行うため、2本のフェイス部材を並列して仮置きした。ホイストクレーンで片方のフェイス部材を吊り上げて移動させようとした際、手前のフェイス部材に接触し、倒れたフェイス部材に右足親指を挟まれ骨折した。	26	6	521	50～ 99
50	2020	6	10 ～ 11	工場内で溶接作業中、近くの作業者が被災者に溶接してもらうため、クレーンを使用し船殻小組材（1m×0.5m）を吊り、高さ約1mで運搬中、溶接を終え立ち上がった被災者の首に接触し、右首部後方に外傷性頸部症候群を負った。	47	3	211	100 ～ 299
51	2020	6	14 ～ 15	出荷のため、昇降設備は解体されていたので、はしごをブロックに立て掛け、固縛せずにブロックへ上り、作業を終え下りているときに、スライドし定盤へ転倒して、左手首を骨折した。	35	1	371	10～ 29
52	2020	6	9 ～ 10	乗船するために?の踏み台に左足で降りた際、踏み台先端部分に足を置いたとき踏み台が動き、バランスを崩して転倒し、タラップ側のステップに左肩を強打し骨折した。	66	1	417	10～ 29
53	2020	7	11 ～ 12	ユニット工場で、プラズマ切断機を使用して作業中、機械が動作不良を起こしたため、皮手袋を着用したままトーチを叩いて衝撃を加えた際、左手示指に熱傷を負った。	19	11	339	100 ～ 299
54	2020	7	9 ～ 10	駐車場ではしごに上って伐採作業中、丸鋸で枝を切り離れたはずみで、バランスを崩して約2.5mの高さから転落し、左足小指・左足股関節・第3腰椎を骨折した。	54	1	371	500 ～ 999
			7	工場内で、ブロック架台を片付け作業中のフォークリフト近くを				

55	2020	7	7 ~ 8	通行していた際、運転手が被災者に気付いてブレーキをかけたが間に合わず、接触してブロック架台の底板が左足に当たり骨折した。	36	6	222	1~9
56	2020	7	17 ~ 18	新型コロナウイルスに感染した職員と、同室内で事務作業を行っていたため、当職員も感染した。	34	90	911	100 ~ 299
57	2020	7	16 ~ 17	台船のタンク内で、エアー抜き管の取り外し作業中、フレ止めのUボルトを切断した際、パイプが滑り落ちてアングルとフランジの間に左手指が挟まれて、骨折・挫創を負った。	21	7	391	10~ 29
58	2020	7	9 ~ 10	朝から、ゴミ焼却作業の準備および伐採した枝の切断作業をしていた。その後、大量の汗をかいたので休憩したが回復せず、熱中症と診断された。	51	11	715	1~9
59	2020	7	14 ~ 15	棟内小組定盤で立体小組の取り付け作業中、レバブロックとスクリュークランプを使用して、仮置き配材していたL字型の小組材の位置決めをしていた際、立て掛け治具のうち1ヶ所の溶接が破断したため小組材が倒壊し、ベースの鋼板との間に挟まれて外傷性ショックにより死亡した。	47	7	418	10~ 29
60	2020	7	9 ~ 10	造船所内で溶接作業に従事中、現場で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、被災者も感染した。	31	90	911	1~9
61	2020	7	4 ~ 5	工場にあるロッカーを移動させて降ろす際、体勢を崩して前に倒れ、ロッカーと地面で指を挟み両中指を骨折した。	23	7	611	30~ 49
62	2020	7	12 ~ 13	磁気ボール盤を使用して橋桁の孔明け作業中、ボール盤マグネットの電源を入れ、錐のハンドルを下げたとき、ボール盤のマグネットが外れ、ボール盤自体が錐部を中心に回転し被災者も同時に倒れ込み、ボール盤を固定したワイヤーに右腕を巻き込み、右橈骨遠位端を折った。	26	7	152	1000 ~ 9999

63	2020	8	8 ～ 9	港湾業務艇に乗船中、海水ストレーナーの上蓋交換作業を行った。運転確認のため、スイッチを押す際、無理な姿勢で行ったため右腰部に激痛が発生し、梨状筋症候群を発症した。	69	19	911	1～9
64	2020	8	8 ～ 9	造船所内の工場で、水槽のエアホース等を点検立ち会いする際、点検用ホースを持って移動中に通路で滑り、段差（20mm）で右足をひねって中足骨を折った。	62	19	417	50～ 99
65	2020	8	11 ～ 12	組立建屋で、ホイストクレーンを使用して配材作業中、クレーン操作者が部材を上下させ、その他3名が押し引きしていたところ、トランス材とベース板の間に被災者の左足が入って挟まれ、母趾を骨折、第2、3趾に裂創を負った。	24	7	521	500 ～ 999
66	2020	8	16 ～ 17	鉄骨塗装で、スプレーガン使用中、レバーに触れて塗料が右手人差し指付け根に入った。	54	8	391	1～9
67	2020	8	14 ～ 15	クレーンポスト製作中、はしごに乗り目違払いをしていたところ、はしごが動きバランスを崩して転落し、右肩腱板断裂を負った。	66	1	371	50～ 99
68	2020	8	16 ～ 17	屋外で船体ブロックの組立業務中、熱中症となった。	36	11	715	10～ 29
69	2020	9	16 ～ 17	継ぎ手のガウジング作業中、上部を作業するためにロンジ間に渡した足場板（1500mm）に乗って作業をしていた。その後、下から約700mmの所まで進んだところで、体を横に動かして足場板の端に乗った際、足場板とロジンは固縛されておらず、天秤状態になって転倒し、ロンジに脇腹を強打して左第8肋骨を折った。	62	2	411	1～9
70	2020	9	11 ～ 12	造船会社製造所内で、クレーンで運搬するために銅製架台にワイヤーを掛け、はしごを使って架台から下りようとした際、はしごが滑ってバランスを崩し、約1.5mの高さより飛び下りるように足	64	1	371	1～9

				から転落して左脛骨を折った。				
71	2020	9	15 ～ 16	客船の船底クリーニング業務中、休憩を挟みながら3時間潜水をしたところ、耳の痛みを感じ、翌日は陸上補助作業に従事していたが、右急性化膿性中耳炎、乳様突起炎、急性咽頭蓋炎を発症した。	23	90	911	10～ 29
72	2020	9	16 ～ 17	トラックの荷台上で、荷物を手で移動させていた際、荷物が滑って左手を挟み骨折した。	51	7	611	1～9
73	2020	9	9 ～ 10	造船工場構内でコンテナ船を玉掛けする際、内部に取り付けられていたはしごを移動させようとしたところ、開口部横のFBにつまみずいて転落し、第7頸椎棘突起骨折を負った。	42	1	414	1～9
74	2020	9	2 ～ 3	工場内で、ハンドドリルを使用して古タイヤの穴開け作業を行っていた際、右手中指を骨折した。	31	7	364	10～ 29
75	2020	9	9 ～ 10	タンク内配管作業準備のため、ガスホースを引っ張っていた際、足下の開口部に片足を突っ込み、転落して腰をぶつけ腰椎を骨折した。	34	1	416	10～ 29
76	2020	9	21 ～ 22	パイプ（350A×240mm、52kg）を溶接するため、クランプを使用してパイプローターにセットする際、クランプの掛かりが浅かったために外れ、左手中指がフランジとパイプローターのファスナー部に挟まれて骨折した。	37	7	521	100 ～ 299
77	2020	9	13 ～ 14	工場内の船台を移動中、固縛されていないはしごを下りていたところ、はしごが動いてバランスを崩し、約3mの高さから落下して、腰椎を圧迫骨折した。	63	1	371	10～ 29
78	2020	9	9 ～ 10	河川敷で、船の修理をするために、川から引き揚げる準備として、船の下に引く台座（重さ79kg、鉄製）が横になっていたのを移動したところ、取り落として台座が右手小指の上に落ち、地面	47	7	379	1～9

				との間に下敷きとなり右小指を開放骨折した。				
79	2020	9	13 ～ 14	建造中の船台上で、甲板上に工事穴を開け、切り開いた鋼坂の巻き上げをする作業中、開孔の鋼坂を巻き上げたとき、先に開けていた工事穴2.7m下に落下し、腰椎第2~5左横突起部を骨折した。	54	1	414	30～ 49
80	2020	9	8 ～ 9	台車上の配管ユニットを確認するために台車上に昇り、その後降りようとした際、はしごを踏み外して墜落し、左頬周辺に裂傷を負った。	71	1	229	500 ～ 999
81	2020	9	11 ～ 12	工場で、タンク内の足場解体作業中、足場上で体の向きを変えようと振り向いた際、足場板がないところでバランスを崩して、約3.5m下に落下し、さらに約1m下へ転落し、右鎖骨・肋骨・胸を打ち骨折した。	56	1	411	10～ 29
82	2020	10	11 ～ 12	どっく構内で、高所船舶ブロックにはしごを掛けて登り切った船体ブロックに移るとき、足下を踏み外して約2.4mから墜落し、第2腰椎破裂骨折、右足首骨折を負った。	36	1	371	1～9
83	2020	10	10 ～ 11	上架船機関室内で2個のチェーンブロックを使用して玉掛け作業中、片方のチェーンブロックのフックが何らかの原因で外れた。その際、吊っていた荷物が落ち、荷物と柱の間に右手親指を挟み骨折した。	43	4	361	50～ 99
84	2020	10	14 ～ 15	左手指（中指・環指・小指）基節骨骨折を負った。	46	7	379	500 ～ 999
85	2020	10	11 ～ 12	倉庫の片付け作業中、はしご（長さ3m、約20kg）を持ち上げて、2階部分にいる作業員へ渡そうとした際、足下に段差があったためバランスを崩し、持っていたはしごが左足に落下して第4趾を切断した。	44	4	371	30～ 49
86	2020	10	16	定盤でブロックを反転作業中、クレーンを使用して高所作業車バスケット内で、玉掛けワイヤーロープを引っ張っていた際、滑車	20	4	211	1～9

			17	からロープが逸走して右足に激突し、打撲を負った。				
87	2020	10	17 ～ 18	足場の番線くずが左サイドのタンク内に確認できたため、タンク内（深さ1.8m）に入り回収した。タンク内からHOLDに上がろうとしたとき、タンク入口にあったファンの風に驚き、タンク内のステップから右足を踏み外し、右膝蓋骨を脱臼した。	25	3	371	10～ 29
88	2020	10	9 ～ 10	構内で、角パイプをクレーンで移動させる際、角パイプの吊り上げた側が横に振れ、右足下腿に当たり、打撲を負った。	57	6	211	30～ 49
89	2020	11	16 ～ 17	門型クレーンでマグネットリフター（吊荷重150kg）を使用し、2点吊りで製作中の作業台治具の根元を切断して手前に30cm位移動しようとしていた。その際、治具は地面に中途半端な状態で設置しており、それを手前に引きずるような形で引き寄せていたが、何かの弾みで治具が手前に倒れ、L字鋼が右足の甲に当たり、骨折した。	30	6	372	50～ 99
90	2020	11	8 ～ 9	左膝に骨挫傷を負った。	61	2	361	1～9
91	2020	11	15 ～ 16	作業場で、同僚3名と階段上部から、油圧駆動装置をチェーンブロックで階段下部へ移動中、上部のチェーンブロックからナイロンスリングがフックから外れ、左下腿に挫創を負った。	51	4	372	10～ 29
92	2020	11	10 ～ 11	プロペラ研磨用の足場架設中、左舷側タワー足場から作業用足場手摺りを設置する際、タワー足場上で踏み外し、約6.6m下の渠底へ転落して、顔面挫創と左股関節脱臼を負った。	26	1	411	1～9
93	2020	11	9 ～ 10	工場内にある船台で、隣の船台に移動する際、同じタイミングで台車を下げ、ウィンチと台車を繋ぐワイヤーが40cmほど跳ね上がり、そのワイヤーにつまづき転落し、体を支えようと左手首を骨折し、右膝・右下腿に打撲擦過傷を負った。	68	2	417	10～ 29

94	2020	11	12 ～ 13	造船所内で、溶接作業時、昼食のため移動していて、足を踏み外し転倒、右肘を骨折した。	29	2	417	1～9
95	2020	11	9 ～ 10	巡視船のプロペラ取り外し作業中、チェーンブロックを介して吊り上げ、パレットに降ろし終える寸前に船体取付ボルトが折れ、被災者の左足首辺りにプロペラが滑るように落ちて骨折した。	64	4	239	1～9
96	2020	12	15 ～ 16	工場内で天井クレーンを使用して、部材に塞ぎ板の搭載作業を行っていた。位置合わせのため、レバーブロック（1.5t）を仮補強部材にセットして微調整を行い、巻き下げ作業を実施した際、レバーブロックのチェーン側フックが弾け飛んで顔面に当たり、眼窩上顎骨と鼻骨を折った。	28	4	372	100 ～ 299
97	2020	12	15 ～ 16	岸壁の栈橋クレーンで、空コンテナをトレーラーに積み込む作業中、荷台上で位置確認を行った後、徐々に下げて荷台に降ろした際、左手中指が挟まれて骨折・伸筋腱損傷を負った。	19	7	211	500 ～ 999
98	2020	12	10 ～ 11	社内倉庫の屋根を吹付塗装中、高さ1.8mの脚立上でバランスを崩し、慌てて地面に飛び降りたところ両足踵を骨折した。	64	1	371	10～ 29
99	2020	12	14 ～ 15	高さ約1.5mの足場上で、ベルマウス取付作業を行っていた際、バールでこねてベルマウス位置調整をしていたところ、バールが外れた反動で転落し、右鎖骨と腰椎を骨折した。	63	1	411	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。